

平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月14日

上場会社名 株式会社 ラ・アトレ

上場取引所 東

コード番号 8885 URL <http://www.lattrait.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇田 栄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理部長 (氏名) 島田 隆浩

TEL 03-5405-7300

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	1,999	—	121	—	48	—	60	—
24年12月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 60百万円 (—%) 24年12月期第3四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	22.25	17.30
24年12月期第3四半期	—	—

当社は、平成24年12月期に決算日を3月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、平成24年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成24年12月期第3四半期の連結経営成績及び平成25年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株あたり四半期純利益及び潜在株式調整後1株あたり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	3,619	—	460	—	12.6	—
24年12月期	3,177	—	396	—	12.3	—

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 454百万円 24年12月期 390百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	—	180	—	87	—	100	—	36.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年12月期は、決算日の変更により9ヶ月決算となっておりますので、通期の対前期増減率については記載しておりません。

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株あたり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期3Q	2,714,000 株	24年12月期	2,707,200 株
② 期末自己株式数	25年12月期3Q	5,200 株	24年12月期	5,200 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期3Q	2,706,657 株	24年12月期3Q	— 株

平成24年12月期は決算日の変更により、平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間となっております。このため、期中平均株式数(四半期累計)の平成24年12月期3Qについては記載しておりません。

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における首都圏の新築マンション市場は、平成25年4月からの消費税率の引き上げや、銀行の住宅ローン金利の上昇傾向、また2020年オリンピックの東京開催決定を受けて、住宅購買意欲が高い状況が続いております。

首都圏中古マンション市場においても、東日本不動産流通機構が発表した平成25年1月から9月の累計成約件数は、前年同期比15.3%の大幅増加となりました。価格面でも、1平方メートル当たり単価が平成25年1月から9カ月連続して前年同月上昇し、9月末で40.95万円と、平成20年4月の40.97万円に次ぐ高い水準になりました。

このような環境の中、当社は引き続き実需の根強い戸別リノベーションマンション事業に注力するとともに、新築マンションの買取再販、販売代理に努めました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高及び損益の状況は以下のとおりとなりました。

なお、セグメント間の内部売上は除いております。

セグメント別売上高の概況

セグメント	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	構成比	前年同期比
	千円	%	%
不動産販売事業	1,793,428	89.7	—
（新築不動産販売部門）	(633,885)	31.7	—
（再生不動産販売部門）	(1,159,543)	58.0	—
不動産管理事業部門	202,613	10.1	—
その他	3,310	0.2	—
合計	1,999,352	100.0	—

(注) 平成24年12月期は決算日変更により、平成24年4月1日から平成24年12月31日までの9ヶ月間となっております。これに伴い、比較対象となる平成24年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との増減比較については記載しておりません。

①売上高

(i) 新築不動産販売部門では、新築分譲マンション「ラ・アトレレジデンス浅草」18戸を引渡した事「ブランドール新石切」を1戸引渡した事等により、売上高633百万円となりました。また、セグメント利益は58百万円となりました。

(ii) 再生不動産販売部門では、戸別リノベーション販売部門において、リノベーションマンションを29戸引渡した事により、売上高1,159百万円となりました。またセグメント利益は106百万円となりました。

(iii) 不動産管理事業部門は、管理物件の賃貸収入等により売上高202百万円となりました。またセグメント利益は56百万円となりました。

(注) セグメント利益とは、各セグメントの売上総利益から、販売費用及び営業外費用を差し引いた

ものであります。

②営業利益

販売費及び一般管理費は232百万円となりました。

その結果、営業利益は121百万円となりました。

③経常利益・四半期純利益

支払利息54百万円、支払手数料14百万円を中心に営業外費用が74百万円となった結果、経常利益は48百万円、四半期純利益は60百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び資本の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ442百万円増加し、3,619百万円となりました。これは、現金及び預金が53百万円増加したこと、流動資産「その他」に含まれる前渡金が163百万円増加したこと、土地が149百万円増加したこと、建物及び構築物(純額)が17百万円増加したこと等が主な原因であります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は前連結会計年度末に比べ378百万円増加し、3,159百万円となりました。これは流動負債「その他」に含まれる預り金が125百万円増加したこと、長期借入金88百万円増加したこと、固定負債「その他」に含まれる匿名組合出資預り金が129百万円増加したこと等が主な原因であります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、460百万円となりました。これは、四半期純利益を60百万円計上したこと等が主な原因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年12月期の連結業績予想数値につきましては、平成25年11月12日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示いたしました数値からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	110,450	163,459
売掛金	13,306	14,032
販売用不動産	424,245	445,616
その他	90,006	284,178
貸倒引当金	△900	△900
流動資産合計	637,109	906,386
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,088,574	1,106,313
土地	1,388,865	1,538,284
その他(純額)	4,048	2,424
有形固定資産合計	2,481,489	2,647,022
無形固定資産		
その他	497	2,617
無形固定資産合計	497	2,617
投資その他の資産	53,766	60,548
固定資産合計	2,535,753	2,710,189
繰延資産	4,376	3,074
資産合計	3,177,239	3,619,650
負債の部		
流動負債		
買掛金	48,299	32,156
短期借入金	471,344	520,646
1年内返済予定の長期借入金	534,837	541,033
未払法人税等	3,443	2,311
その他	69,644	164,937
流動負債合計	1,127,569	1,261,084
固定負債		
長期借入金	1,483,040	1,571,361
その他	170,409	327,096
固定負債合計	1,653,449	1,898,457
負債合計	2,781,019	3,159,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	250,000	251,830
資本剰余金	139,820	141,650
利益剰余金	2,526	62,755
自己株式	△1,607	△1,607
株主資本合計	390,739	454,628
新株予約権	5,480	5,480
純資産合計	396,220	460,108
負債純資産合計	3,177,239	3,619,650

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	1,999,352
売上原価	1,645,701
売上総利益	353,651
販売費及び一般管理費	232,024
営業利益	121,626
営業外収益	
受取利息	84
受取配当金	186
雑収入	1,274
営業外収益合計	1,545
営業外費用	
支払利息	54,449
支払手数料	14,437
株式交付費償却	749
社債発行費等償却	551
その他	4,737
営業外費用合計	74,927
経常利益	48,245
特別損失	
固定資産除却損	293
特別損失合計	293
税金等調整前四半期純利益	47,951
法人税、住民税及び事業税	2,384
法人税等調整額	△14,661
法人税等合計	△12,276
少数株主損益調整前四半期純利益	60,228
少数株主利益	—
四半期純利益	60,228

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

		当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		60,228
その他の包括利益		—
四半期包括利益		60,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		60,228
少数株主に係る四半期包括利益		—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	新築不動産 販売部門	再生不動産 販売部門	不動産管理 事業部門	計		
売上高						
外部顧客への売上高	633,885	1,159,543	202,613	1,996,042	3,310	1,999,352
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,751	—	—	22,751	40,371	63,122
計	656,636	1,159,543	202,613	2,018,793	43,682	2,062,475
セグメント利益	81,670	106,032	56,779	244,482	35,595	280,078

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リフォーム事業、損害保険の代理店事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	244,482
「その他」の区分の利益	35,595
セグメント間取引消去	△63,122
全社費用(注)	△168,710
四半期連結損益計算書の経常利益	48,245

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①不動産販売事業における当第3四半期までの契約進捗状況

(i) 契約高及び契約残高（受注高及び受注残高）

(単位：千円)

当第3四半期	
平成25年12月期 第3四半期 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	
契約高	契約残高
1,797,084	80,465

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。

(ii) 契約進捗率

(単位：千円)

当第3四半期 売上計上分	1,793,428
当第3四半期 契約済売上計上予定分	80,465
合計	1,873,894

(注) 上記の金額には、消費税は含まれておりません。